

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
秘書広報課 ☎22-8112

1,200個の灯籠が神宮内を灯しました



息を合わせてオールを漕ぐ参加者たち



揺らめく灯りの天の川
7月23日 氣比神宮の杜フェスタ2011

中心市街地の活性化に役立てようと、「氣比神宮の杜フェスタ2011」が催されました。大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」にちなんだ「三姉妹浴衣コンテスト」や、東日本大震災復興を支援するオリジナルグッズ、特産品の販売や、市内の小中学生が製作した復興祈願七夕飾りの展示などで大賑わい。夜には約1,200個の灯籠に火が灯され、天の川に見立てた光と箏や尺八の音色が合わさって、氣比神宮内は幻想的な雰囲気になりました。また、「神宮前サマーバレンタイン2011」などのイベントも同時開催され、会場を盛り上げました。

敦賀港で熱戦!!
7月17日 第16回敦賀港カッターレース

敦賀港川崎・松栄岸壁で敦賀港カッターレースが行われました。夏の恒例行事となっていた敦賀港カッターレースですが、今回が海洋少年団の主催する最後の大会となりました。今年は1部・2部合わせて、市内の地域や企業、仲間たちで結成した31チームが出場。市内外から多くの観客のみなさんが訪れ声援を送りました。参加者は、掛け声で息を合わせて、力いっぱいオールを漕ぎチームワークとタイムを競いあいました。照りつける夏の日差しのなか「港まち」にふさわしい白熱したレースが敦賀港で繰り広げられました。

見送りをする子どもたち



作品作りに夢中



意見を交わすパネリスト



全国への決意を述べる川端さん



船旅へいってらっしゃい!
7月29日 「人道の港クルーズ」出港式

敦賀港フェリーターミナルで「人道の港クルーズ」の出港式が行われました。出港式では、河瀬市長が「敦賀港は国際港として栄え、また、ユダヤ人難民が上陸した人道の港でもあります。この敦賀港からの船旅を楽しんでください」と挨拶。また、NPO法人 JellyBeans によるダンスも披露されました。乗客からは色とりどりの紙テープが投げられ、多くの人に見送られながらの出港となりました。

夏休み陶芸に挑戦!!
7月26日 夏休み工作教室

こどもの国で小学生を対象に夏休み工作教室が行われました。この日は、19組の親子が参加し、陶芸教室としてお皿を飾り付ける「お皿アート」に挑戦。はじめに作り方の説明やろくろなど道具の使い方を教わった後、配られたお皿と粘土でオリジナルのお皿作りを行いました。参加した親子は、協力して粘土をこねたりくっつけたりしながら作品作りに没頭し、世界に一つだけの作品を完成させていました。

緊急被ばく医療の人材育成を
7月24日 緊急被ばく医療フォーラム in 敦賀

今後の緊急被ばく医療について考える「緊急被ばく医療フォーラム in 敦賀」がプラザ萬象で行われました。この日は、弘前大学教授の柏倉幾郎氏が、被ばく医療の人材育成について講演。その後、福井大学医学部教授の林寛之氏らパネリストとともに、福島の経験から得た課題の討論などを行いました。来場者からは「今は、知識があいまい。県や市が今後どのように教育を行っていくのか示してほしい」といった意見がありました。

全国の舞台で活躍を
7月21日 全国大会出場選手壮行式

総合運動公園体育館で、スポーツの全国大会に出場する選手の壮行式が行われました。今年は、小学生から社会人までの個人・団体合わせて11競技226人が出場。河瀬市長が「全国の舞台で活躍して敦賀市民を元気づけてほしい」と激励すると、氣比高等学校の川端蒼さんが、「敦賀の代表として精一杯戦ってきます」と力強く決意を述べました。